

創業100周年記念 社友会がシェル本社を訪問



オランダのシェル・ハーグ本社前にて

4月8日お釈迦様の日に、総勢85名の昭和シェル社友会の大団体が、日本におけるシェル創業100周年を記念して、シェルの本家本元のハーグとロンドンを訪ねる旅に出掛けました。

ハーグで昼食会に招待された一行を、かつて日本に勤務されていた現ロイヤル・ダッチ／シェルグループ副会長のヴァンデンバーグ氏が各人と直々に握手して出迎えてくださり、全員恐縮致しました。オランダと日本の友好400年の節目に当たり、そしてシェル100周年記念というめでたい年にオランダ本社を訪問出来たことは、私共にとって非常に幸せなことでした。また、快晴に恵まれて、どこを見ても絵になる様な水の都アムステルダム、風車、チューリップや水仙、ヒヤシンスの咲きほこる公園、素晴らしい美術館を十分に楽しむことが出来ました。

次に訪問したのがロンドン、名物のシャワーが私共一行を出迎えました。小雨にけむるロンドンは一段と風情があり、こうもり傘の似合う相変わらずの街並みですが、テムズ川の水が綺麗なのには感心しました。シェルセンタ

ーの23階でドリンクパーティが開催され、かつて日本で活躍された錚々たる方々のご出席になりました。ヴァンデンバーグ副会長の「友達方より来る。また楽しからず哉」という日本語の挨拶に始まり、佐藤団長の格調高い英語の答礼。そして思い思いのグループで、旧交を暖め、近況を語り合って、時のたつのも忘れる程でした。

最終目的地のマドリッドに着いた翌日からすっかり晴れ上がって気温も上がり、古都トレドの石畳を散策し、大聖堂に驚嘆しながら、最後はフラメンコを鑑賞してフィナーレ。18日全員無事帰国して、成功裏に旅行を終えることが出来ました。ここに関係各位にお礼申し上げます。

(社友会本部役員 山田量一)



社友会員に挨拶するヴァンデンバーグ副会長